

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成25年5月9日(2013.5.9)

【公開番号】特開2012-149030(P2012-149030A)

【公開日】平成24年8月9日(2012.8.9)

【年通号数】公開・登録公報2012-031

【出願番号】特願2011-229039(P2011-229039)

【国際特許分類】

C 0 7 F 15/00 (2006.01)

C 0 9 K 11/06 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 F 15/00 C S P E

C 0 9 K 11/06 6 6 0

H 0 5 B 33/14 B

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月21日(2013.3.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

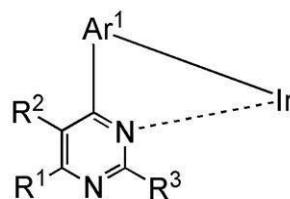
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(G1)で表される構造を有する化合物。

【化1】



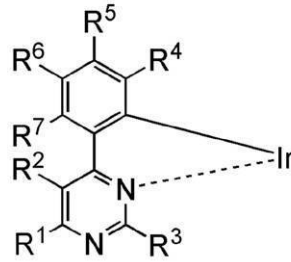
(G1)

(式中、R¹は、置換もしくは無置換の炭素数1~4のアルキル基、又は置換もしくは無置換の炭素数6~10のアリール基を表し、R²は、水素、置換もしくは無置換の炭素数1~4のアルキル基、又は置換もしくは無置換のフェニル基を表し、R³は、水素、又は置換もしくは無置換の炭素数1~4のアルキル基を表し、Ar¹は、置換又は無置換の炭素数6~10のアリーレン基を表す。)

【請求項2】

式(G2)で表される構造を有する化合物。

【化 2】



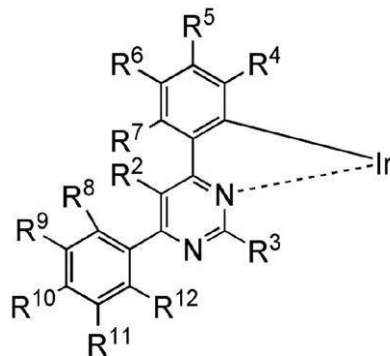
(G2)

(式中、 R^1 は、置換もしくは無置換の炭素数 1 ~ 4 のアルキル基、又は置換もしくは無置換の炭素数 6 ~ 10 のアリール基を表し、 R^2 は、水素、置換もしくは無置換の炭素数 1 ~ 4 のアルキル基、又は置換もしくは無置換のフェニル基を表し、 R^3 は、水素、又は置換もしくは無置換の炭素数 1 ~ 4 のアルキル基を表し、 $R^4 \sim R^7$ は、それぞれ独立に、水素、置換もしくは無置換の炭素数 1 ~ 4 のアルキル基、置換もしくは無置換の炭素数 1 ~ 4 のアルコキシ基、置換もしくは無置換の炭素数 1 ~ 4 のアルキルチオ基、ハロゲン基、置換もしくは無置換の炭素数 1 ~ 4 のハロアルキル基、又は置換もしくは無置換の炭素数 6 ~ 10 のアリール基を表す。)

【請求項 3】

式 (G3) で表される構造を有する化合物。

【化 3】



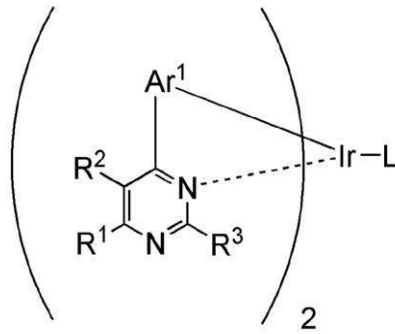
(G3)

(式中、 R^2 は、水素、置換もしくは無置換の炭素数 1 ~ 4 のアルキル基、又は置換もしくは無置換のフェニル基を表し、 R^3 は、水素、又は置換もしくは無置換の炭素数 1 ~ 4 のアルキル基を表し、 $R^4 \sim R^{12}$ は、それぞれ独立に、水素、置換もしくは無置換の炭素数 1 ~ 4 のアルキル基、置換もしくは無置換の炭素数 1 ~ 4 のアルコキシ基、置換もしくは無置換の炭素数 1 ~ 4 のアルキルチオ基、ハロゲン基、置換もしくは無置換の炭素数 1 ~ 4 のハロアルキル基、又は置換もしくは無置換の炭素数 6 ~ 10 のアリール基を表す。)

【請求項 4】

式 (G4) で表される化合物。

【化 4】



(G4)

(式中、Lは、モノアニオン性の配位子を表す。また、R¹は、置換もしくは無置換の炭素数1～4のアルキル基、又は置換もしくは無置換の炭素数6～10のアリール基を表し、R²は、水素、置換もしくは無置換の炭素数1～4のアルキル基、又は置換もしくは無置換のフェニル基を表し、R³は、水素、又は置換もしくは無置換の炭素数1～4のアルキル基を表し、Ar¹は、置換又は無置換の炭素数6～10のアリーレン基を表す。)

【請求項5】

請求項4において、

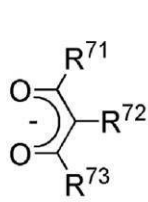
前記モノアニオン性の配位子は、ベータジケトン構造を有するモノアニオン性の二座キレート配位子、カルボキシル基を有するモノアニオン性の二座キレート配位子、フェノール性水酸基を有するモノアニオン性の二座キレート配位子、又は2つの配位元素がいずれも窒素であるモノアニオン性の二座キレート配位子である化合物。

【請求項6】

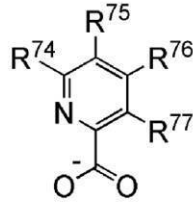
請求項4において、

前記モノアニオン性の配位子は、一般式(L1)乃至(L7)のいずれか一である化合物。

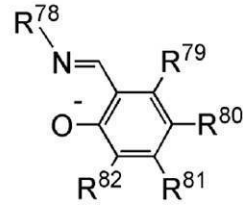
【化 5】



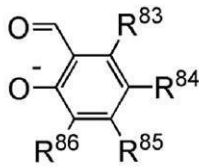
(L1)



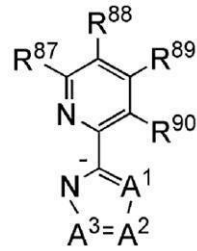
(L2)



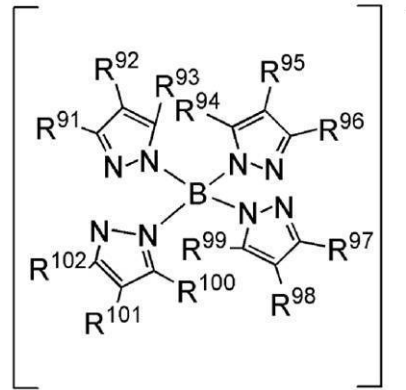
(L3)



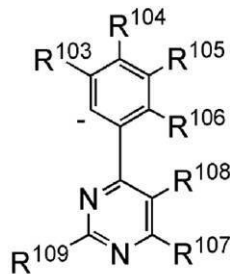
(L4)



(L5)



(L6)



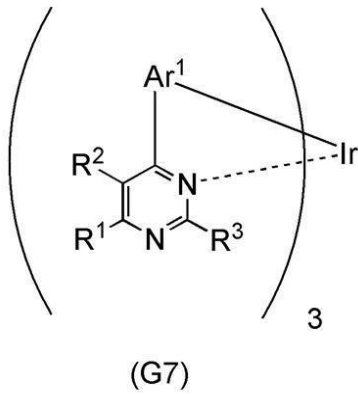
(L7)

(式中、 $R^{71} \sim R^{109}$ は、それぞれ独立に、水素、置換もしくは無置換の炭素数 1 ~ 4 のアルキル基、ハロゲン基、ビニル基、置換もしくは無置換の炭素数 1 ~ 4 のハロアルキル基、置換もしくは無置換の炭素数 1 ~ 4 のアルコキシ基、又は置換もしくは無置換の炭素数 1 ~ 4 のアルキルチオ基を表す。また、 $A^1 \sim A^3$ は、それぞれ独立に、窒素、水素と結合する sp^2 混成炭素、または置換基 R と結合する sp^2 炭素を表し、前記置換基 R は炭素数 1 ~ 4 のアルキル基、ハロゲン基、炭素数 1 ~ 4 のハロアルキル基、またはフェニル基を表す。)

【請求項 7】

一般式 (G7) で表される化合物。

【化 6】

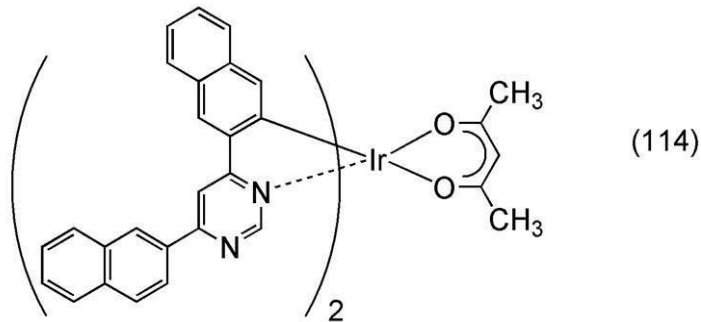


(式中、 R^1 は、置換もしくは無置換の炭素数 1 ~ 4 のアルキル基、又は置換もしくは無置換の炭素数 6 ~ 10 のアリール基を表し、 R^2 は、水素、置換もしくは無置換の炭素数 1 ~ 4 のアルキル基、又は置換もしくは無置換のフェニル基を表し、 R^3 は、水素、又は置換もしくは無置換の炭素数 1 ~ 4 のアルキル基を表し、 Ar^1 は、置換又は無置換の炭素数 6 ~ 10 のアリーレン基を表す。)

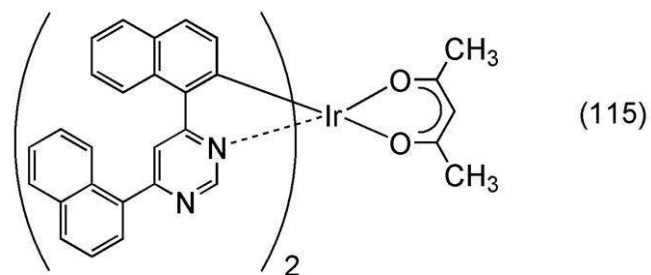
【請求項 8】

式 (114)、式 (115)、式 (196)、式 (201) のいずれか一で表される化合物。

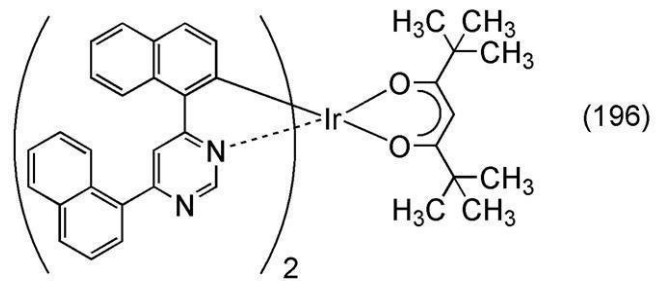
【化 7】



【化 8】



【化 9】



【化 10】

